



8月の大雨で冠水したJR安芸長束駅前の道路

浸水被害対策

今年の夏は、8月11日からの記録的な大雨により、広島市では犠牲になられた方が出たほか、土石流や土砂崩れ、道路の冠水や陥没といった被害が各地で続出しました。

例えば、安佐南区長束のJR可部線安芸長束駅前の通りでは、数100メートルにわたり、冠水しました。避難所となっている長束小学校は、この通りが入口につながっていることから、高齢者や子どもたちが立ち往生していました。そうした事態を受け、安佐南消防団祇園分団が救援に駆け付けました。幸い、短時間で水は引きましたが、浸水の危険性を浮き彫りにしたのです。

JR下祇園駅周辺はマンション建設等が進み、車や歩行者、自転車が行き交っています。祇園地区の西端を南北に貫く都市計画道路「長束八木線」と国道183号線を結び、下祇園駅の南側を通る道路は顕著で、歩行者の安全確保が求められています。

中でも、下祇園駅南側にある「油谷踏切」から東方向100メートルは路側帯しかなく、安全とは言えない状態です。この区間は通学路を含み、下祇園駅への経路でもあるため、朝夕の通勤・通学時にはかなり混雑します。周辺住民や利用者から、安全確保や改善などを求めるご意見・ご要望を



路側帯を着色した祇園踏切の道路

②歩行ゾーンを強調するため、路側帯を着色する



歩道の改善が検討されている油谷踏切付近の道路

JR下祇園駅「油谷踏切」安全確保へ歩道改善策

広島市下水道局により、近くの新安川の水が太田川に流れきらなかったことが要因の一つとみられます。この地域では、大雨になると浸水被害が出るため、根本的な原因の解明と同時に、道路をかさ上げするなどの応急的な措置の検討を行うよう働きかけています。

改善案の内容

①道路のセンターラインを南側にずらして北側の路側帯を広げ、歩行者と車との間隔を確保する

踏まえ、広島市に提案し、このほど改善に動くことになりました。

お知らせ

最大会派「自由民主党・市民クラブ」へ加入しました

10月1日付で、会派「自由民主党・市民クラブ」へ加入しました。自民党・市民クラブは私を含めて15人で、広島市議会(定数54人)における最大会派として広島市政を支えています。自民党・市民クラブへの加入に伴い、広島新生クラブは解散となりました。

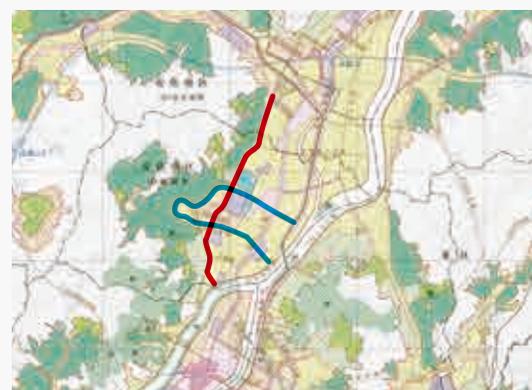
質問1 街路整備について伺います。

(5)都市計画道路「長束八木線」の3工区と4工区の進捗状況はどの

建設関係(10月14日)

広島市議会**(4)決算特別委員会**が10月に開かれました。同委員会第3分科会で、建設関係、消防上下水道関係の令和2年度決算について、それぞれ質問しました。このうち、主なやりとりを掲載します。

答弁1 **道路交通局** 長束八木線の3工区に関しては現在、中央分離帯の設置などを行っています。3工区全体は今年度末の完成予定となっております。また、4工区は主に用地買収の段階にあります。総事業費ベースで約19%、用地取得ベースで



赤線が長束八木線で、青線が西原山本線/広島市計画総括図より抜粋

なっていますか?同じく、**(5)都市計画道路「西原山本線」**について、JR可部線下祇園駅北側の「祇園踏切」東側から国道183号線にかけての未着手部分(約430メートル)について、どうお考えか教えてください。

5つの政策

私は、5つの政策を打ち出して選挙に臨みました。これは、「4年間の任期で一定の成果を挙げます」と有権者の皆様と約束したことです。

- 1. 子育て支援・人材育成
- 2. 道路などのインフラ整備を推進
- 3. 防災・減災
- 4. 「カラーバリアフリー」の推進
- 5. 広島市政改革・メディア戦略

※は今回のテーマとしている政策です。

(4)~(6)はP4のQ&Aで解説しています。

質問2 広島市作成の「浸水ハザードマップ」を見たところ、浸水の深さの色分けが見分けにくいように



答弁1 **下水道局** まず、止水板とは、マンションや家屋の入口部分などに設置して浸水を防ぐ機材のことを言います。浸水防止機能の高いことに加えて、土のうを積むよりも簡単に設置できるという効果が期待されています。止水板設置補助制度とは、止水板の購入費を、補助率50%、上限50万円として補助する制度です。

質問1 市街地の**(6)浸水被害**を軽減するための「止水板設置補助制度」の概要、止水板に期待される効果をそれぞれ教えてください。

答弁2 **下水道局** 今回のご指摘を踏まえ、浸水ハザードマップをより見分けやすい色合いに変更したり、浸水ハザードマップの区域を細分化するなど見直すことで、より細かい部分が見えやすく、効果が最大限に発揮できるものに改善してまいります。

上下水道関係(10月15日)

約22%となっています。西原山本線の当該区間については、JR下祇園駅自由通路整備など他の事業との相乗効果が期待できます。これらを基に事業着手の判断を行っていきます。

感じました。縮尺の関係で、細かい部分も見えづらくなっています。浸水ハザードマップの効果が最大限に発揮できるよう、色弱者や高齢者といった方々がより視認しやすいものに改善できないでしょうか。